

疼痛緩和外科・いたみセンターを受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	人工知能を用いた疼痛診療支援システムの開発
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 道勇 学
担当科等	疼痛医学講座
研究責任者	(職名) 教授 (氏名) 牛田享宏
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	日本臓器製薬株式会社 武岡裕一、 福島県立医科大学 矢吹省司、 岡山大学 鉄永倫子
研究の意義・目的	これまでの慢性痛患者さんの診療情報の特徴及び集学的診療ノウハウを人工知能エンジンに学習させ、患者さんに対して効率的かつ確かな診療の支援をする「疼痛診療支援 AI システム」の開発を目的としています。
対象となる患者さん	2013年10月から2024年3月までに疼痛緩和外科・いたみセンターを受診された【慢性痛】の患者さんのうち、初診時に疼痛緩和外科・いたみセンター包括同意書に同意された方
研究の方法	痛みセンターの過去のカルテ情報を抽出し、痛みの重症度と集学的診療チームの診断ノウハウを教師データとして付加した上でデータの匿名化を行います。個人が特定されないように匿名化したデータは、愛知医科大学医学部疼痛医学講座へ収集後、共同研究機関（日本臓器製薬株式会社）に提供し、人工知能エンジンに学習させ検証し疼痛診療支援システムを開発します。本研究の方法に関する資料は愛知医科大学医学部疼痛医学講座のホームページにて閲覧できます。
研究期間	倫理審査承認日 ～ 2024年3月31日
研究に用いる情報	情報：診療記録、質問紙記録等
外部への試料・情報の提供	愛知医科大学医学部疼痛医学講座、日本臓器製薬株式会社へ電子データとして電子媒体を介して提供します。
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。ただし、情報が個人を識別できる場合のみ対応可能です。
問い合わせ先	愛知医科大学医学部疼痛医学講座 担当者：(職名) 教授 (氏名) 牛田享宏 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 12042)